

題材 「お年玉いくらかな」 ○時間中の第1時

(1) 学習のねらい

2年生までの算数の授業で10000までの数を習っている子どもたちが、配られた封筒の中に入っているお年玉に出会い、それぞれの位ごとにお金を分け、全部でいくらあるのか数えることを通して、千の位の次に一万の位があることに気づき、10000を超える数を書いたり読んだりすることができる。

(2) 本時の学習材

お年玉

- 子どもたちにお正月といえは何かがあるか問い、「お年玉！」という考えを捉えたところでこの学習材に触れていく。
- 本学習材は、お年玉である。本学習材には、子どもたちにとって身近な数字であり想像しやすいという価値がある。この学習材に出会った子どもたちは、1000が10個集まると10000になることから、千の位の次に一万の位があることに気づき、10000を超える数を書いたり読んだりすることができる。

(3) 学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
課題把握	1 お年玉を各班で数える	・おせち！ ・お年玉！ 学習問題 もらったお年玉は全部でいくらあるかな。 ・何円あるかな ・偽物じゃん！ ・あれ、1000円が多いな ・1円が○こ、10円が○こ、100円が○こ、1000円が○枚、10000円が○枚ある ・1円が3枚、10円が6枚、100円が5枚、1000円が24枚あったよ ・24563円になるよ！	15分	・「みんな、お正月で嬉しいことといえは何かがある？」 ・「先生からみんなにお年玉をあげます」と言い、各班にお年玉の袋を配る。
展開		学習課題 何で1000円が24枚で二十四千円じゃだめなの？		学習材 お年玉
終末	2,何で二十四千円だとだめなのか考える	・千円が10枚で一万円になるんだよ ・20枚だと、10枚が二つで二万円だから、二万四千円になるよ ・言葉でまとめて書いてみよう ・絵でまとめてみたよ ・一の位は3、十の位は6、百の位は5 ・違うよ！千の位は4だよ！	15'	・お年玉は、各班違う額を用意し、万の位も千円札で用意するようにする。 ○2班を当てて「1円は何枚あった？10円は？100円は？1000円は？」 ・「じゃあ全部合わせて何円になったかな？」 ○「あれ、二十四千五百六十三円じゃないの？」 ・「何で二万四千円になるのか、ノートに書いてみよう」 ・子どもたちが考えてまとめる時間をとる。 ・子どもに前でなぜ二万四千円になるのか説明させる。 ・1000が10枚集まると繰り上がって一万になることを、電子黒板でお札を動かしながら説明する。 ・「じゃあ、位に当てはめてもう一度考えてみよう」 ・「一の位は何？十の位は？百の位は？千の位は24？」

	3まとめと振り返り	・万！ ○千の位の次は一万の位になるんだな ・漢字で書く時は、位の表を使うとわかりやすいぞ ・うーん、位と数字の関係がよくわからないな	15'	○「千の位の次は何か？」 ○「千の位の次は、一万の位というんだよ」黒板の位の表に一万の位を追加する。 ・24563は、漢字で書くと二万四千五百六十三になることを、位の表を使いながら説明する。 ・他の班のお年玉の合計が何になったかを聞き、その合計の数を数字または漢数字でノートに書かせる ・p,70の②、③を解かせ、机間指導を行う。 ・「できた子は、周りのまだやっている子に答えじゃなくてヒントあげて」と言う。 ・終わった子は振り返りを書いてノートを提出させる。 評価 ・1000が10集まると10000になることを理解している。（ノート） ・千の位の次が一万の位になることを理解し、数字と漢数字でそれを表現することができる。（ノート）
--	-----------	--	-----	---